

『経営とTQM』講演会

◇ 日 時 : 2025 年 5 月 19 日 (月) 13:10 ~ 16:50

◇ 会 場 : リーガロイヤルホテル広島 4 階 ロイヤルホール

~ 広島市中区基町 6-78 TEL (082) 502-1121

および オンライン配信による

参加のお勧め

中国地区品質経営協会では、毎年、総会のプログラムの一つとして、著名な方を講師にお招きし、『経営とTQM』講演会を開催しております。本年度も、令和 7 年度総会において、以下の要領にて講演会を開催いたします。

本年度は、早稲田大学創造理工学部 経営システム工学科 教授 永田 靖 氏と、株式会社 日立製作所 取締役会長 代表執行役 東原 敏昭 氏をお招きし、ご講演いただきます。

最初にご講演いただく 永田 靖 氏は、京都大学卒業後、大阪大学大学院にて工学博士を取得され、熊本大学、岡山大学を経て、米国コネチカット州立大学で在外研究をされたのち、早稲田大学にて経営システム工学に関して、長く指導・研究にあたられるとともに、日本品質管理学会会長や応用統計学会会長も歴任されています。また、多くの生産現場を訪問しながら、“統計科学”について、研究を続けておられます。

今回の講演では、『改善活動を見直す』と題して、ご講演いただきます。

改善活動は TQM 活動の中核です。TQM 活動が効果的に進捗するためには、改善活動が適切に実施されなければなりません。むかしと比較して改善活動はうまく推進できているでしょうか。時代の変化に対応できているでしょうか。昨今の働き方改革の影響はどうでしょうか。企業側の支援は十分でしょうか。テーマが現場の課題から乖離していたり、グローバル化・多様化の中での活動が難しくなったりしていないでしょうか。企業を取り巻く現在の環境を考慮すると、新たなキーワードとして「変化の激しい時代」「ビッグデータ」「AI」「働き方改革」「品質不正」「サステナビリティ」「改善活動の形骸化」「人材不足」などが浮かび上がります。変えてはいけない視点、新しく考慮しなければいけない視点を取り上げて、改善活動について「伝説的な事例」を交えて語っていただきます。

続いてご講演いただく 東原 敏昭 氏は、1977 年日立製作所入社され、電力や鉄道など様々な分野の制御システムの品質保証や取り纏め業務に長く従事されてきました。国内外の子会社社長等の経営経験を経て、2014 年執行役社長兼 COO 兼取締役、2016 年執行役社長兼 CEO 兼取締役、2021 年執行役会長兼 CEO 兼取締役、2022 年より現職となられています。社外でも日本経済団体連合会 副会長や日本科学技術振興財団理事長などを務め、社会課題解決や科学技術教育支援に尽力されています。

今回の講演では、『日立の経営改革と今後の価値創造』と題して、ご講演いただきます。

2000 年代後半に「沈む巨艦」と揶揄された日立グループにおいて、部門ごとに閉ざされサイロ化された組織を壊し、いわゆる「大企業病」の根絶とグローバルナンバー 1 への飛躍を目指した経営改革について解説していただきます。

著書「日立の壁」において紹介されているエピソードを中心に、日立が日本を代表するグローバル企業に変革を遂げるまでの経営改革の裏側と、日本人の強みを活かしてグローバルに社会課題解決を推進するための将来の人財・リーダーシップのあり方についても語っていただきます。

各企業のトップの方をはじめ、経営幹部の方々にはたいへん参考になる講演となっていますので、是非とも多数のご参加をお願い申し上げます。

主 催 : 中国地区品質経営協会

後 援 : 一般社団法人 中国経済連合会, 広島商工会議所, 広島経済同友会, 広島県経営者協会

プログラム

時 間	内 容
13:10 ~ 13:20	【開会挨拶】 中国地区品質経営協会 会長 マツダ株式会社 取締役 専務執行役員 向井 武司
13:20 ~ 14:50 (90 分)	【第 1 部】講演① 『改善活動を見直す』 早稲田大学創造理工学部 経営システム工学科 教授 永田 靖 氏 《講演者紹介》 中国地区品質経営協会 副運営委員長 国立大学法人 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 客員教授・名誉教授 高橋 勝彦
14:50 ~ 15:10	休憩 (20 分)
15:10 ~ 16:40 (90 分)	【第 2 部】講演② 『日立の経営改革と今後の価値創造』 株式会社 日立製作所 取締役会長 代表執行役 東原 敏昭 氏 《講演者紹介》 中国地区品質経営協会 マツダ株式会社 常務執行役員 弘中 武都
16:40 ~ 16:50	【閉会挨拶】 中国地区品質経営協会 副会長 西川ゴム工業株式会社 取締役会長 西川 正洋

* 会場受け付け開始は、12:30～の予定です。

講師紹介 (講演順)

◆永田 靖 (ながた やすし) 氏

略 歴	1980 年	京都大学理学部数学科卒業
	1985 年	大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了 (工学博士)
	1987 年	熊本大学工学部専任講師
	1990 年	岡山大学経済学部助教授
	1993 年 3 月 ～1994 年 1 月	米国コネチカット州立大学で在外研究
	1998 年	岡山大学経済学部教授
	1999 年	早稲田大学理工学部経営システム工学科教授
	2007 年	早稲田大学創造理工学部経営システム工学科教授
		現在に至る
その他の 経歴	2005 年～2007 年	日本品質管理学会編集委員長
	2008 年～2012 年	応用統計学会編集委員長
	2016 年～2018 年	応用統計学会会長
	2021 年～2023 年	日本品質管理学会会長
	2021 年～	品質管理シンポジウム組織委員
	2024 年～	デミング賞審査委員会委員長
受賞歴		デミング賞本賞、日本品質管理学会最優秀論文賞 (2 回)、 日経品質管理文献賞 (7 回)、早稲田大学ティーチングアワード (3 回) など
専門分野		統計科学

◆東原 敏昭 (ひがしはら としあき) 氏

略 歴	1977 年	徳島大学工学部卒業
	1990 年	ボストン大学大学院 (コンピュータサイエンス学科) 修了
	1977 年	株式会社日立製作所 入社
	1999 年	電力・電機グループ大みか電機本部交通システム設計部長
	2000 年	電力・電機グループ情報制御システム事業部電力システム設計部長
	2001 年	システムソリューショングループ情報制御システム事業部電力システム本部長
	2004 年	情報・通信グループ情報制御システム事業部長
	2006 年	理事/情報・通信グループ COO
	2007 年	執行役常務/電力グループ COO
	2008 年	日立パワーヨーロッパ社プレジデント
	2010 年	株式会社日立プラントテクノロジー代表執行役 執行役社長
	2013 年	執行役専務/医療事業担当、インフラシステムグループ長兼インフラシステム社社長
	2014 年	代表執行役 執行役社長兼 COO
	2014 年	取締役 代表執行役 執行役社長兼 COO
	2016 年	取締役 代表執行役 執行役社長兼 CEO
	2021 年	取締役 代表執行役 執行役会長兼執行役社長兼 CEO
	2021 年	取締役 代表執行役 執行役会長兼 CEO
	2022 年	取締役会長 代表執行役
		現在に至る
その他の 経歴		日本経済団体連合会 副会長や日本科学技術振興財団 理事長などを務め、社会課題 解決や科学技術教育支援に尽力

QMAC 2025 Lecture Meeting

参加要領

【参加形態】

①会場 + ②Web

【参加費】

会員会社： 8,000 円/名

一般： 10,000 円/名

【申込締切日】

2025 年 5 月 8 日(木)

【申込方法】

- ・参加申込用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAX または E-mail でお願いします。
- ・参加費は 5 月末日迄に下記へお振り込みください。

振込先： 広島銀行広島駅前支店 (普)1047528

口座名： 中国地区品質経営協会

* ①会場参加の方には、参加券を発行しますので、当日受付にてご提出をお願いいたします。

(参加券と引き換えに資料をお渡しいたします)

キリトリ

会場のご案内



① 会場参加の方

リーガロイヤルホテル広島

広島市中区基町 6-78

TEL (082)502-1121

<http://www.rihga-hiroshima.co.jp/>

JR 広島駅から徒歩 25 分

バス停：広島バスセンター

電 停：広島電鉄 紙屋町

② Web 参加の方

各企業・団体様の会議室、自席、在宅等

「経営と TQM」講演会 参加申込用紙

中国地区品質経営協会 行

〒733-0011 広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号 (世良ビル 404 号)

TEL: (082)532-6844 FAX: (082)532-6845

E-mail: qmac@a1.mbn.or.jp

会 社 名		お申込責任者：	
		TEL：	
		E-mail：	
住所（〒 ）			
参 加 者 名	所 属 ・ 役 職	参加形態：○を付 けください。	メールアドレス：②Web 参 加の場合は記入ください。
		① 会場／②Web	
		① 会場／②Web	
		① 会場／②Web	
		① 会場／②Web	
		① 会場／②Web	
参加費 (名分) 円		請求書 必要 ・ 不要	

※ ご記入して頂いた企業・組織及び個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために
使用します。